

本日で4年生の学習が修了となります。1年間、西大和学園に通って各教科の学習に、一生懸命取り組みました。校舎も変わって心機一転、教科によって先生が変わったり、選択教科があったりと、新しいことも多い1年でしたが、たくさんのことを学び、また一回り大きく成長したことと思います。3年生とくらべて、国語も算数の学習も難しくなりました。漢字も新たに200文字習いました。各教科で出る宿題も、現地校の課題や習い事と平行して頑張ったことと思います。休み時間やスナックタイムには教室や外の広場で友達と楽しく話したり遊んだりしました。週に一度ではありますが、仲が深まっていくことを嬉しく思います。何より1年間継続して努力できたお子さんたちに大きな拍手を送ります。

1年間、お子さんが日本語の学習を継続できたのも、保護者の皆様のご家庭でのサポートがあってこそだと感謝しております。どうもありがとうございました。春休みの宿題は出しておりませんが、春休みに漢字や算数、音読などを復習しておくことで、5年生のよいスタートがきれれると思います。教員一同、お子さんの今後の成長を楽しみにしております。今後ともあたたかいご支援をよろしくお願いたします。1年間ご協力いただきどうもありがとうございました。

綾野 和恵（1組担任） 赤堀 千恵（2組担任）  
上野 五男（社会） 森本 みどり（理科） 森永 将一（体育）

#### ◆◆◆ 小学部・中学部卒業証書授与式 ◆◆◆

先週12日は小学部と中学部の卒業式が行われました。4年生も在校生として参加し、国歌や校歌を歌ったり、拍手を送ったりして6年生と9年生の卒業を祝いました。卒業証書授与や、卒業生一人一人の卒業の言葉など、初めて経験する西大和学園の卒業式。厳かな雰囲気には驚いた子もいるかもしれませんが、立派な態度で参加することができました。2年後を楽しみにしています。



# 犬棒(かるた)



**い** 犬も吠けば棒に当たる(いぬも吠えば棒に当たる)

でしゃばって何かをしやうとすれば思いがけない災難に合うこと。後には、出歩けば思わぬ幸運に出会うことがあるという意味で使われることがある。

**ろ** 論より証拠(ひんよりひん)

ものごとを明らかにするには、議論するよりも証拠を示すほうが良い方法である。

**は** 花より団子(はなよりだんご)

花を見るより、だんごを食べるほうが良い。名譽や外観よりは実質を遊ぶと。また、きれいなものを理解する情緒がないこと。

**に** 憎まれこり世にはばかる(にくまれこり世にはばかる)

人からにくまれるような人に限って、世の中では力を持ったり、幅をきかせること。

**ほ** 骨折りのくたびれもうけ(ほねおりぞんのくたびれもうけ)

苦労をしたけれど、くたびただけでいいことがなく終わってしまっていること。

**へ** 下手の横好き(うたの横好き)

下手なくせに、その物事をするのがとても好きで熱心なこと。

**と** 年寄りの冷や水(としよりのひやみず)

冷たい水を飲んだり浴びたりなど、お年寄りにぶさわしくない危ないことをすること。

**ち** ちりも積まれば山となる(ちりもせまればやまとなす)

わずかなものでも少しずつ積み重ねれば、大きなものになること。

**り** 理屈の体(りきつてい)

こう理屈の体でいってきけるよう、理屈もそのうちいってきける。

**ぬ** 盗人の屋敷(ぬすびとのやぶ)

どんなことをするにも、それなりの理由があること。

**る** 理屈ももろもろ(りきつてもろもろ)

優れた才能や素質のある者は、学習や修行を重ねれば大成するという意味。

**っ** 笑門には福来る(わらう門にはふく来る)

**う** 嘘から出た実(うそからでたまこと)

嘘や冗談で言ったことが結果的に本当のことになる。

**の** のどもと過れば熱をわすれる(のどもとすればあつさをわすれる)

苦しかった時に助けてもらった恩も、楽になると忘れてしまっていること。

**お** 鬼に金棒(おににかなぼう)

鬼に、金棒を持たせると。

**く** くさいものに蓋(くさいものにぶた)

失敗や人に知られたくないことを、こまかして隠そうとすること。

**や** 安物買いの銭失い(やすものかひのぜにうしなひ)

安物を買うと品質が悪く長持ちしないので、結局損をすることになる。

**ま** 負けるが勝ち(まけるが勝ち)

無理をして争うよりは、相手に勝ちをゆずるほうが良い結果になることも多い。

**け** けんか面成敗(けんかりょうせいばい)

けんかをしたものは、理に関係なく双方とも悪いこととして同じように罰すること。

**ふ** 文はやりたし書く手は持たず(ふみはやりたしかくはもたず)

字が書けないため、好きという思いを手紙で書くことができず、人にもたのめないでやまきをする。

**こ** 転ばぬ先の杖(ころばぬさきのつえ)

失敗しないように、あらかじめ準備や用心をしておくこと。

**え** 得手に帆を揚げる(えてにほをあげる)

自分の得意なことを發揮する好機がやってきてはりきること。

**て** 天知る地知る(てんしるちしる)

誰も知らないと思っても、天と地は知っている。悪いことはいつかは必ずばれてしまう。

**あ** 頭かくしてしりかくさず(あたまかくしてしりかくさず)

悪いことや欠点を一部しか隠していないのに、自分では全部隠したつもりでいること。

**さ** 三々三々(さんさんさんさん)

休憩するのはあとにして、失敗のないよう念入りに確かめたほうがよいこと。

**き** 聞いて極楽見て地獄(きいてごくらくみてじごく)

人から聞いた話と、実際に見たのでは大きな違いがある。

家族が仲良く、いつも笑顔で暮らしている家には、自然に幸せがやってくる。

**か** 可愛い子には旅をさせ (かわいこにはたびをさせ)

子供が可愛いなら、甘やかさないで世の中のつらさを経験させたほうが、その子の将来のためになる。

**よ** 葦の髄から天井を覗く (あしのかきからてんじょうをのぞく)

一部分のことしか知らないのに、全部をわかっていようと、思ふものこそ判断するのだ。

**た** 旅は道連れ世は情け (たびはみずりれよはなせ)

一人で旅をするより、仲間が一緒にいるほうが心強い。人はお互いに助けあうことが大切である。

**れ** 礼も過ぎれば無礼になる (れいもすぎればぶれいになる)

相手に対して、ついおねいにして過ぎるとかえって失礼になる。礼儀はほどほどにするのがよい。

**そ** 損して得取れ (そんしてとくとれ)

一時は損をしても、それをもとに将来大きな利益を得る方がよい。

**つ** 用とすじ強と (つとすじつと)

二つのものの形が似ていても、実際は比べものにならないくらい違いがあること。

**ね** 念には念を入れ (ねんにはねんをいれ)

注意したうえにも、更に注意をする。ものごとを慎重に行いなさいという意味。

**な** 泣き面に蜂 (なきつらにはは)

泣いている顔をハチが刺す。不幸なことが重なっておこることをたとえ。

**ら** 染なれれば群群 (ひびくればぐんぐん)

染なことのあつたものは群群とあつたあつたは染染がある。

**む** 無理が通れば道理引ひ込む (むりがつうればぢりひひくむ)

道理に合わないことが行なわれる世の中では、正しいことが行なわれなくなる。

油断すると災難にあたり、失敗することが多い。油断は恐ろしい敵である。

**め** 目の上のたんこぶ (めのうえのたんこぶ)

自分よりも優れていて、何かにつけて目ざわりなもの、じゃまなもののこと。

**み** 身から出たさび (みからでたさび)

自分の悪いおこないが原因で、苦しんだり災難にあつたこと。

**し** 知らぬが仏 (しらぬがほとけ)

知らなければ怒ったり、心配することもなくおたやかな気持ちでいられる。また、みんなにはかにされても、本人だけが知らず平気であるようす。

**ひ** 百聞は一見にしかず (ひゃくぶんは一けんじしかず)

人から何度も聞くより、自分で見たり経験したほうがよく分かるということ。

**も** 門前の小僧習わぬ経を読む (もんぜんこのぞうならわぬきよつをよむ)

いつも見たり聞いたりしていると、習わなくても、自然にそれを覚えるものである。

**せ** せいては事を仕損ず (せいてはことをしそんず)

何事もあせると失敗しやすい。急いでいるときこそ、落ち着いて行動したほうがよい。

**す** 過ぎたるは及ばざるがごとし (すぎたるとはおよばざるがごとし)

過事もやり過ぎるのは足りないのと同じくらいよくないこと。ほどほどにするのがよい。

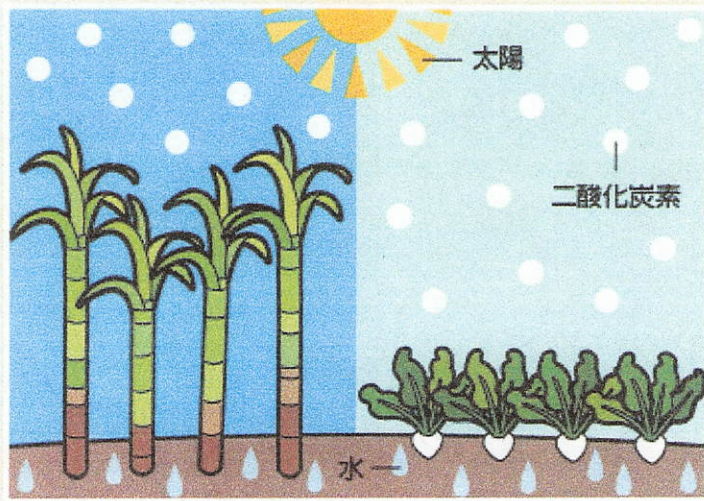
\* 「を」「ん」から始まる「ことわざ」はないため、「を」「ん」の礼は入っておりません。ご了承願います。

## さとうって何からできているの？（三井製糖のホームページより）

お砂糖の原料は、「さとうきび」と「てん菜」、この2つがお砂糖の原料になる2大植物です。てん菜は、「ビート」とも言う、丸くてずんぐりした、ダイコンとかカブみたいな植物です。てん菜は太い根っこの部分に、たっぷり甘みを貯えることができ、形はダイコンに似てるけど、実はホウレンソウの仲間です。



植物は、水と二酸化炭素を原料に、太陽エネルギーを使って光合成をします。その**光合成でつくられるのが、成長のためのエネルギーとなる「糖質」**です。



でも、果物やほかの野菜でも甘いものってたくさんあるのに、どうしてこの二つが、とりわけお砂糖の原料になるのだろう？

実は、お砂糖の成分のほとんどは「**蔗（ショ）糖**」という糖質です。そしててん菜やさとうきびは、**光合成でできる糖質を「蔗（ショ）糖」**として貯えられるのです！

だから、お砂糖に加工するのにとっても便利なのです。

サトウキビ（別名；甘シヨ）



温暖な地域で栽培される、イネ科の多年生植物。夏の強い日差しによって活発な光合成をし、ショ糖をつくる。糖分を含む茎は、高さ 3～6m、直径 2.5～5 センチにもなる。

テンサイ（別名：サトウダイコン、ビート）



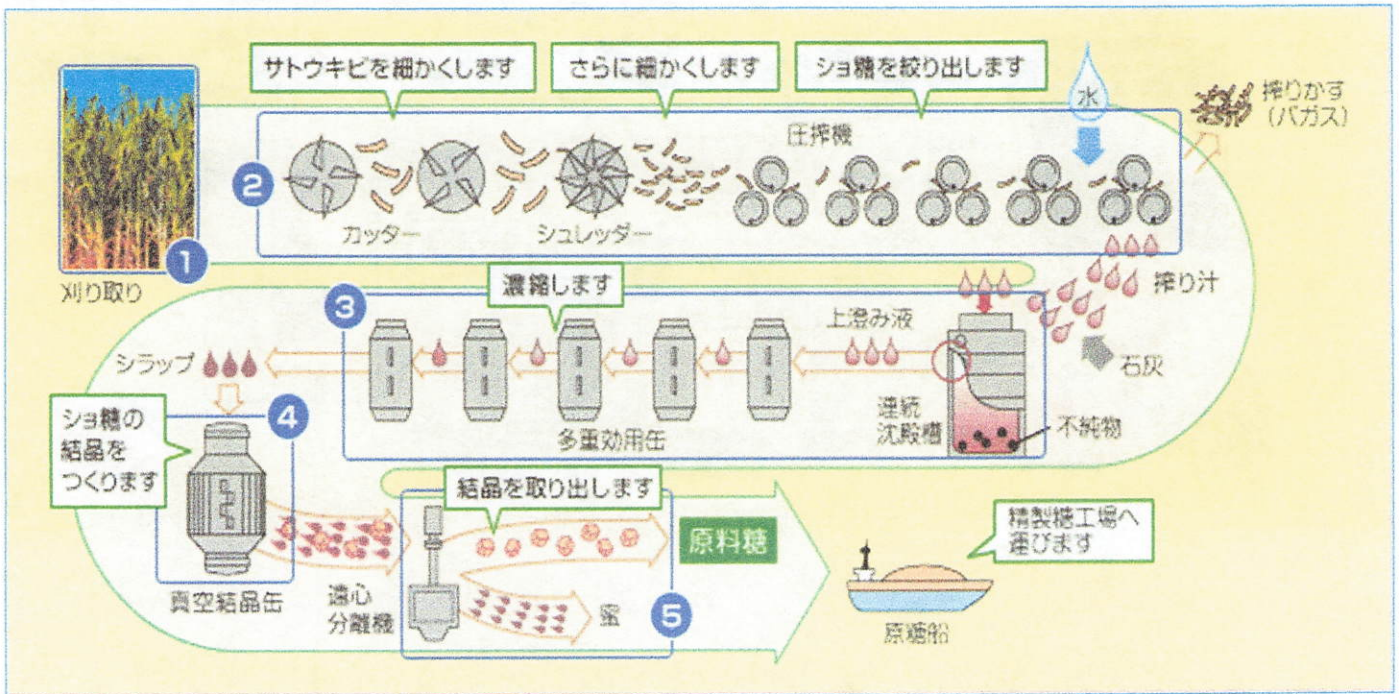
温帯の冷涼な地域に育つ植物で、ホウレンソウと同じアカザ科に属する。根の部分に糖分を貯え、直径 10～15 センチ、長さ約 30 センチの紡錘形で重さは 500g～1kg ほど。

日本国内では、てん菜は主に**北海道**で作られている。ジャガイモや、秋まき小麦の輪作作物（※1）として植えられる。さとうきびは、**沖縄**や種子島、奄美大島などの、鹿児島県南西諸島も大きな産地である。

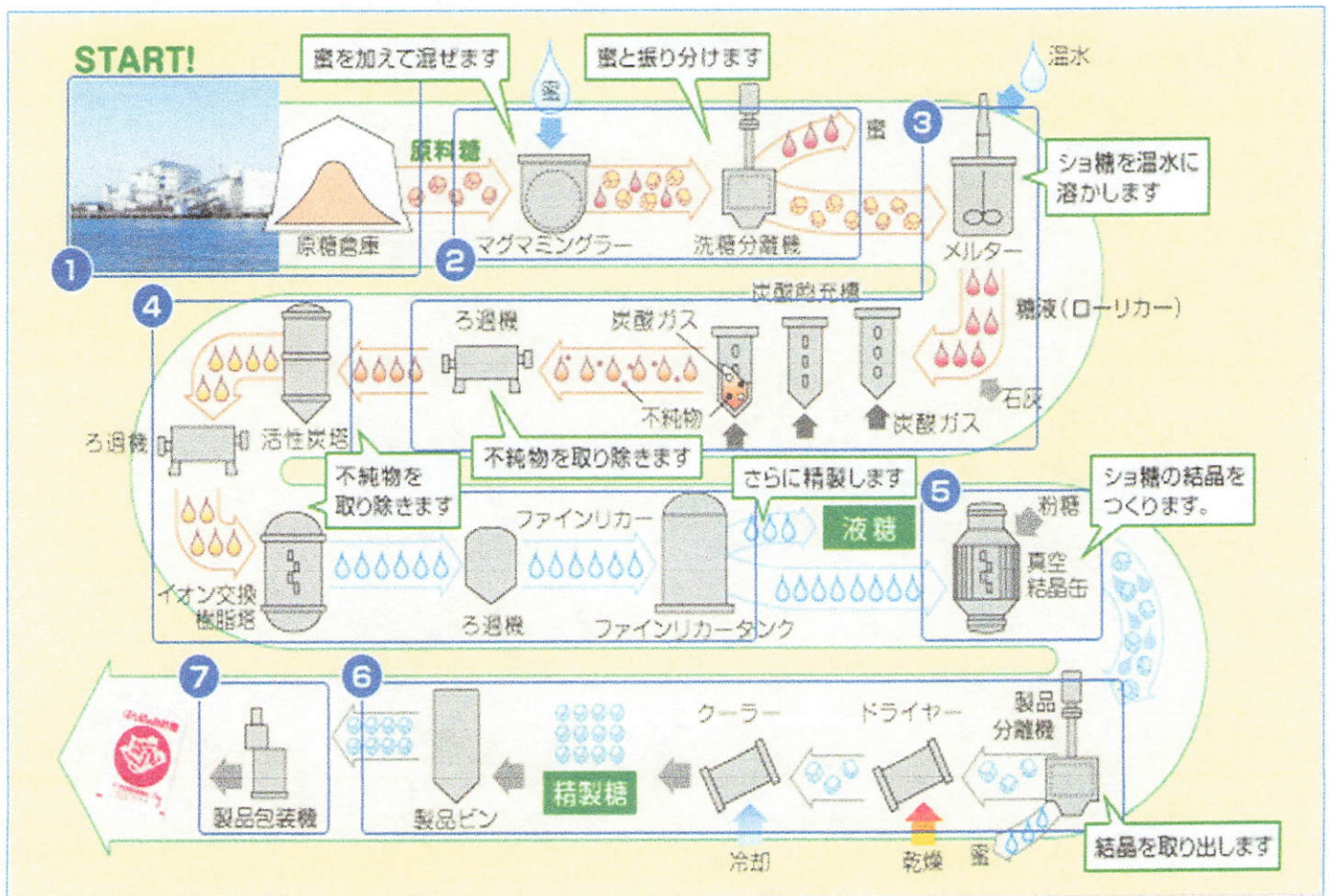
（※1）一種類の作物のみを作り続けると畑が痩せてしまうため、同じ畑に複数の作物を交替で植えることを「輪作」という

# お砂糖ができるまで

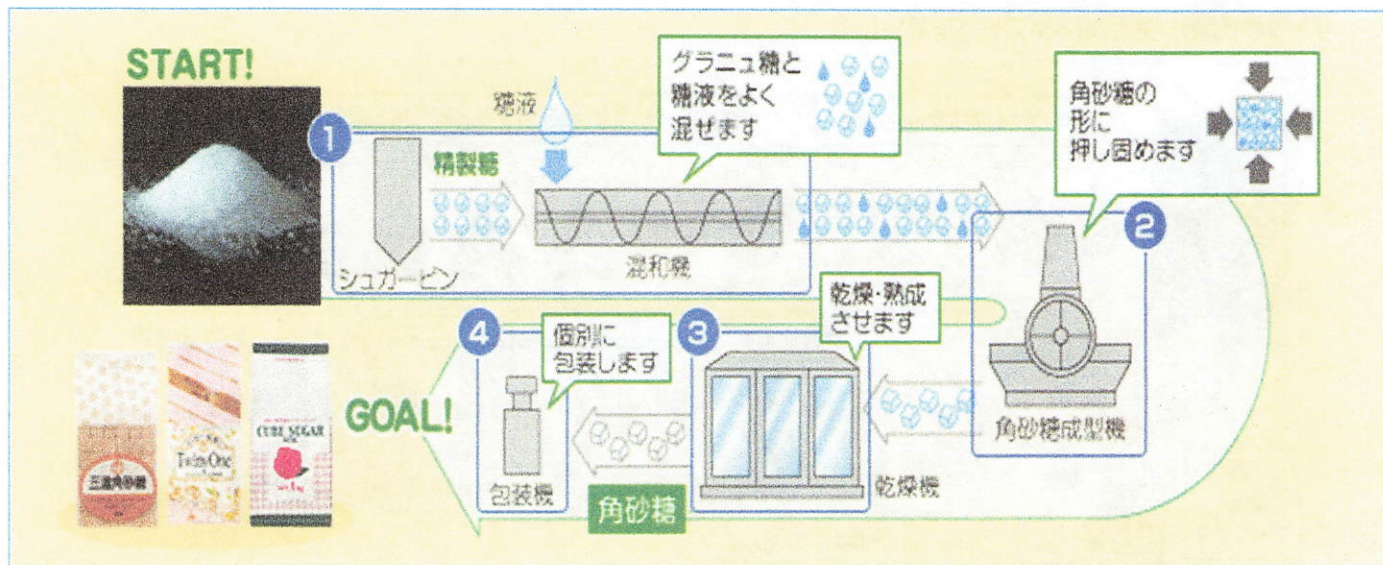
## サトウキビ畑から原料糖ができるまで



## 原料糖から精製糖ができるまで



精製糖から角砂糖ができるまで



3/9 さとうはどのように作られるのかを学んだあと、「ヘラこあめ」「カルメ焼き」を作りました。